

議 事 録

会議名	令和2年度第2回寒川町介護保険運営協議会		
日 時	令和2年9月25日（金） 午後6時30分～8時15分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場東分庁舎第1会議室		
出席者	委 員：長崎委員（会長）、木藤委員（副会長） 西村委員、森委員、吉川委員、富岡委員、 藤懸委員、茶木委員、寺本委員 事務局：亀山福祉部長、長岡高齢介護課長、仲手川副主幹 中瀬主査、柏木主任主事 ※傍聴者なし		
議 題	1 議事 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）の現状分析について (1)現計画の体系に基づく現状と課題の整理 (2)第8次寒川町高齢者保健福祉計画の体系の骨子の検討 (3)計画の概要、位置づけ 2 その他 (1)「寒川町地域包括支援センター 南部相談室」の開設について て (2)「寒川町人口の推移と推計」について		
決定事項	議事についてはすべて了承		
議 事	<議事前段の進行> ○会長挨拶 ○配付資料の確認 ○議事録署名委員について 西村委員及び森委員であることを確認。 <これより議事> 議題1 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）の現状分析について (1) 現計画の体系に基づく現状と課題の整理		

柏木主任主事：【資料1に基づき説明】

藤懸委員：第6次、第7次と比較して、アンケート調査の件数が減ってきているのはなぜか。

仲手川副主幹：65歳以上対象に全数調査をやれば本当は一番いいが、そこまでの費用はかけにくい。統計的に導きだしたこれだけあれば大丈夫だろうという件数でやっている。

富岡委員：このアンケート調査はどのようなものか。

仲手川副主幹：昨年12月に実施したもの。日常生活圏域ニーズ調査というもので、第7次計画書だと11ページ。国から統一的に示された調査項目に従ったもので、高齢者の日常がどんな状況かを問い合わせる調査となる。

富岡委員：セカンドライフ予備軍調査も国から示された項目をやったものか。毎年やるものなのか。

仲手川副主幹：セカンドライフ予備軍調査は、本町オリジナルで、セカンドライフの手前の年齢の人が対象。将来に向けてどんな考えを持っているかを聞いたもので、3年に一度計画を策定する前の年には必ずやっている。

寺本委員：介護保険料が寒川町は高いという声が比較的多いが、どのように捉えているか。

仲手川副主幹：第7期の保険料を神奈川県内33自治体で高い順に並べると寒川町は22番目でやや真ん中より下になる。

寺本委員：高齢者が増えている中で、できるだけ低い保険料でよいサービス提供をしていくことがますます問われてくる。課題をいかに具現化に結びつけて還元していくかが、この計画の中で問われてくる。町も高齢者のさまざまな問題について、部門ごとに分かれての行政のシステムを見直して効果的な行政のシステムで取り組んでいく必要がある。ちょうどいい計画の策定の時期なので、その点も考慮してやるとすごくいいものができると思う。

長崎会長：今、言われたようなことを議論して計画をつくるということではいか。

《結果 了承》

(2) 第8次寒川町高齢者保健福祉計画の体系の骨子の検討

柏木主任主事：【資料2に基づき説明】

茶木委員：基本目標5に介護保険サービスの適切な運営とあるが、どこまでチェックをしているのか。

柏木主任主事：介護保険サービスの種別によって指定権者が異なるが、町が指定したものについては、指導の機会がある。

茶木委員：利用者に対するサービスの提供はそれなりにやっているが、働く人への対応が本当にひどく、みんな辞めてしまい人が足りない。

柏木主任主事：事業者から利用者への対応について指導の機会があると説明したが、委員が言っているのはそうではなく、法人や運営側からの職員への対応ということか。

茶木委員：そのとおり。事業者が自分で運営して利益を取っているならいいが、税金で運営しているのだからその点も見てほしい。利用者に対してきちんとやるのは当然だが、利用者を相手にするのは職員。運営側の職員への対応がひどくて、辞めてしまって人が足りないから税金を入れて時給を上げるというのは違うと思う。

長崎会長：福祉の環境がすごく変わっていく中で、このままでいいのかと思うこともある。研修や資料に書いてあることをきちんと位置づけて、教育もしていけるような計画をつくろうということではいいか。

《結果 了承》

(3) 計画の概要、位置づけ

柏木主任主事：【資料3に基づき説明】

富岡委員：特に変わった点があれば説明してほしい。

仲手川副主幹：今回示しているのが骨子と現状分析の部分だけで、大きくはそこまで変わらない。

長崎会長：課題は全体的に網羅されている。すべてこれだけできたらすごいが、必ずしもこのとおりにはいかない。これから整理するという理解でいいか。

仲手川副主幹：具体的な話はこれからになってくる。

藤懸委員：計画に新型コロナに関することを書くことはで

	<p>きるのか。書いておいた方ができなかつたときにスタートの状況がどうだったかわかりやすいと思うが。</p> <p>長崎会長：国の方針もあるので、町だけで決めるわけにはいかない問題なのでは。</p> <p>仲手川副主幹：コロナの影響を受けているのは全国どこでも一緒なので、特別にそのことを書くつもりはなかつた。</p> <p>富岡委員：後から評価の読み込みでこの時期にどうして落ち込んだのかというところでコロナが出てくるのであって、あくまで計画は目指す目標に向かって立てていく必要があると思う。</p> <p>仲手川副主幹：半年ごとに進捗状況の評価をやっている。今年度の上半期はコロナが出てくると思う。感染症が高齢者の生活、施策の部分でどう捉えていくかを少しは触れないといけないと考えているので、そこで書ければいいと思っている。</p> <p>富岡委員：感染症や災害が起こる前提で、そういう視点をもった計画が今後は必要だと思う。</p> <p>《結果 了承》</p> <p>2 その他</p> <p>(1)「寒川町地域包括支援センター 南部相談室」の開設について</p> <p>(2)「寒川町人口の推移と推計」について</p> <p>仲手川副主幹：【資料5・6に基づき説明】</p> <p>寺本委員：ブースや部屋の確保はしてあるのか。</p> <p>仲手川副主幹：今までふれあいルームと言っていた部屋を確保している。</p> <p>○事務局より連絡</p> <p>仲手川副主幹：【令和2年度の介護予防事業について。元気はっけん広場在宅版について説明】</p> <p>○副会長閉会挨拶</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1 現計画の体系に基づく現状と課題の整理</p> <p>資料2 第8次寒川町高齢者保健福祉計画の体系の骨子の検討</p> <p>資料3 計画の概要、位置づけ</p>

	<p>資料4 寒川町総合計画2040基本構想（抜粋）</p> <p>資料5 「寒川町地域包括支援センター 南部相談室」チラシ</p> <p>資料6 「寒川町人口の推移と推計」（第1回配布資料の修正版）</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>西村 耕三 、森 一光</p> <p style="text-align: right;">（令和2年11月20日確定）</p>